

科目番号	4	科目名	社会と会計	
英文科目名				
大学・短期大学名	滋賀		大学	
連絡先	滋賀大学学務課総務係			
	TEL :	0749-27-1017	FAX :	0749-24-5122
担当教員	笠井 直樹		(経済 学部 准教授)	
実施方法	対面授業	遠隔授業	対面・遠隔併用	
教室名	-	会場	-	
授業期間	2026年10月5日(月)～2027年1月25日(月) <毎週月曜日> 7 時限・講時 19 : 20 ~ 20 : 50			
超過時の選考方法	書類により選考			
成績評価方法	定期試験(筆記)			%
	レポート試験(期末)			%
	平常点(出席・授業態度)			%
	その他(講義期間中に実施する期末最終試験)			100 %
別途負担費用	なし		あり()円	
その他特記事項	<p><講義概要・到達目標> ※初回講義ガイダンスに関する情報をSulmsのコースにあげるので確認すること。</p> <p>【授業の目的と概要】 この講義では、簿記会計等で扱う会計の計算技術的な側面にはあまり触れずに、会計および会計情報についてその社会的役立ちを理解してもらうことを主な目的とする。 どちらかといえば、会計情報(会計数値)をどのようにして計算するのかということよりも、会計情報(会計数値)が作成される仕組みを理解し、さらに、これらが社会において実際にどのように利用されているのかについて重点をおいて説明する。 具体例を挙げながらできるだけ平易に説明するように心がけるが、扱うトピックによっては多少前提知識が必要な場合もあるので、その場合は適宜こちらから補足的な解説を行う。 なお、併行履修科目として「簿記会計」および「会計学基礎」をあげておく。 また、より発展的な内容を学習したい場合は、「財務会計総論I・II」、「財務諸表分析論I・II」、「上級財務会計I・II」を履修することを勧める。</p> <p>【授業形態】 受講者の学習効果を高めると同時に、受講者の学習スタイルの多様性を確保するため、Sulms・MSStreamを利用したオンデマンド型講義を実施する。 受講者には、自宅あるいはその他の場所からMSStreamを利用し講義動画(pptファイルに解説用音声を付けたもの)を視聴する作業が求められる。 なお、講義資料についてはSulms上にアップロードされた講義資料(pdfファイル)を各自で入手する必要がある。 また、Sulms上で講義後の質問受付、期末最終試験(Sulmsの小テスト機能を利用)を行うため、こまめにチェックしておくように。</p> <p>【授業の到達目標】 会計情報(会計数値)が作成される仕組みを理解し、これらが社会において実際にどのように利用されているのかを理解すること。</p> <p>なお、この科目の到達目標は以下のディプロマ・ポリシーと特に関連がある。</p> <p>【経済学部のディプロマ・ポリシー】 1. 社会人としての幅広い知識と汎用的能力 ・経済についての専門的な知識と思考力を習得している。 ・社会に関わる多様な学問に接し、広い知識と基礎的な考え方を習得している。 ・自主的に問題を発見し、課題として解決できるように取り組むことができる。</p> <p>2. 専門的学識 (1)経済専攻 ・現代経済学についての基礎的な知識と多角的な考え方を習得している。 ・経済現象の基本的な内容と仕組みを理解することができ、その基礎的な分析の仕方を習得している。</p>			

(2)経営専攻

・企業や経営に関する事象を理解するための多くの考え方を修得し、広い視野に立って、企業経営、組織の意義、人々の協働の重要性を理解し、それらのあるべき姿についての意見を述べるができる。
・会計に関する基礎的な知識を修得し、様々な会計問題について適切に考えて議論することができ、さらに創造的な挑戦の試みによって社会に貢献できる。
・資本調達や投資決定を巡る意思決定をファイナンス理論の観点から理解することができ、その基礎的な分析の仕方を習得している。

【事前学習・事後学習など授業時間外の学習】

講義計画はあくまで予定であり、変更する可能性があることに留意されたい。必要な情報はSulms上にあげておくので必ず確認しておくように。

また、成績評価については、定期試験ではなく期末最終試験(Sulmsの小テスト機能を利用)を通じて評価を行うこととする。

単位取得のためには各回前後に最低でも合計で4～5時間程度の学習が必要である。

本講義では、財務会計・ファイナンス等の基礎知識に基づいた応用的なトピックを扱う。したがって、関連分野の知識を講義開始前にある程度理解しておくことが講義内容を理解するためには有用である。もちろん、受講後に不足している知識を修得することも可能である。

以下に各回の事後学習として学習が必要な内容を記載しておくので、確認しておくように。

1. ディスクロージャー制度と監査
2. 会計の意義
3. 複式簿記の仕組み
4. 会計史
5. 事業用資産
6. 金融資産
7. 損益計算書
8. 投資家向け情報・有価証券報告書
9. 資金の運用・安全性・収益性
10. 期間比較・企業間比較・無形(?)の資産
11. ROE・貸借対照表の分析・企業の特徴分析
12. 決算政策
13. ファンダメンタル分析:CF経営分析、グループ経営分析
14. ファンダメンタル分析:安全性分析・補足(BS、フリーCF、回転期間)
15. 利益マネジメント

<授業スケジュール>

回	月日	テーマ・キーワード
1	10月5日	講義ガイダンス
2	10月19日	会計の目的と仕組み
3	10月26日	複式簿記とは?
4	11月2日	複式簿記と会計の歴史
5	11月9日	財務会計の基礎①
6	11月16日	財務会計の基礎②
7	11月23日	財務会計の基礎③
8	11月30日	決算書の見方・調べ方
9	12月7日	決算書の見方①
10	12月14日	決算書の見方②
11	12月21日	決算書の見方③
12	12月24日	決算政策①
13	1月4日	ファンダメンタル分析
14	1月18日	ファンダメンタル分析(続き)
15	1月25日	決算政策②

<教科書・参考書>

【教材に対する補足情報】

教科書は特に指定せず、Sulms経由で講義資料を配布する。